

留 学 報 告 書

留学先国	中国、香港
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 香港城市大学人文社会学科 (英) City university of Hong Kong, Social science
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学した時の学年	3 年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	3 年生 (留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2024 年 12 月 14 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月

留学費用項目	現地通貨 (HKD)	円	備考
授業料	0 HKD	0 円	協定留学のため無し (明治大学への学費のみ)
宿舍費	11,450 HKD	231,000 円	4 力月間の合計金額
食費	8,600 HKD	170,300 円	
図書費			
学用品費			
教養娯楽費			
被服費	300 HKD	6,000 円	
医療費			
保険費	2,360 HKD	46,700 円	明治大学指定の海外旅行保険
渡航旅費	3550 HKD	70,000 円	
雑費	2,000 HKD	40,000 円	
その他 (交通費)	2,600 HKD	51,400 円	
その他 (娯楽)	2,000 HKD	40,000 円	
その他 ()		円	
合計	32,860 HKD	655,400 円	1HKD = 20 JPY

渡航関連	
渡航経路	成田空港 > 香港空港
渡航費用	チケットの種類 economy 往路 33,700 円 復路 37,150 円 合計 70,850 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
Trip.com	

滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
School residence	
部屋の形態	☐ 個室 OR ☒ 相部屋（同居人数：2）
住居を探した方法	
大学の指示に従った	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
自分が割り当てられた寮が新設で、キッチンも何もない状態で、施設もほとんど使えなかったのが非常に残念だった。また、旧施設は大学の隣にある一方で、新設の方は、大学から M T R で 1 時間ほど離れた場所にあって非常に不便だった。更には、同居者希望を他の国籍の人にして申請したが、自分を含め、ほとんどすべての学生が、同じ国の人で組まれていた。良かったところは、徒歩 5 分で行けるビーチが三つあったことと、建物がきれいだったことくらい。もし選択が可能なのであれば、大学に近い方を選ぶと良い。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
☒ 利用する機会がなかった ☐ 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
問題がなかった。相談窓口はあると思う。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
専用のアプリや大学の特別講義があったが、どれも利用しなかった。ふつうに生活していれば問題ない。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？	
例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。	
寮の WIFI は普通。基本的に街のどこにでも WIFI がある。	
現地での資金調達はどのように行いましたか？	
現金を両替して持っていった。また、クレジットカードを現地のカードに紐つけて使っていた。	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
なし。基本的に日本のもので溢れかえっているから現地で買えばいい。	
進路について	
進路	
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他：	
進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など	
なし	

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

電通デジタル、日本 IBM、Abeam、ADK、ビジョンコンサル、シンプレクス、Capgemini、ライズコンサル、イントループ、リグリットパートナーズ等

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

基本的にすべてオンラインでできる。留学中ではあったが、計約30社のサマーインターンシップに合格し、オンライン開催のものを受けた。本選考もオンラインで対応してもらえて、時差もほぼないので特に問題なかった。ただ、1日に6社ほど面接をしたりする日やインターンで授業を休む日もあったので、自身のモチベーションと能力と相談するべき。

学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
12単位（4科目）	☒ 10単位（4科目） ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	The Structure of English
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Dr. JIA Mian James
授業内容	英語言語学について。音声学、第二言語習得等
試験・課題など	各授業でクイズ課題、2 回の in class テスト、最終グループワーク課題
感想を自由記入	以前明治大学で履修していた言語学と少し被るところやその発展についてであったので、理解しやすく、楽しく授業を受けることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Love, Sex, and Relationships: Psychological Perspective
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）

授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof. Julian LAI
授業内容	心理学に基づいた human relationship について、さまざまな角度から掘り下げる。
試験・課題など	2 回の in-class テスト、最終グループワーク課題
感想を自由記入	特に後半は非常に興味深い内容で楽しかった。また、授業内でクラスメイトと意見交換する機会が多く、意欲的に取り組めた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Communication and Marketing
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Dr. Marko M. Skoric
授業内容	メディアコミュニケーションを軸に広告の基礎から発展までを網羅的に学ぶ。
試験・課題など	毎回の授業毎にグループレポート課題、テスト1回、個人課題、最終グループワーク課題
感想を自由記入	一番楽しみにしていた授業。内容は基礎から発展まで広く扱っており、非常に面白かった。各課題は、ビジネスケースのような形で、実際の企業等を想定して行うので、より実践的な力もついたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Fundamental of Advertising
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr. Andy Lai
授業内容	広告、PR の基礎について。
試験・課題など	テスト、最終グループワーク課題
感想を自由記入	少し他の授業と内容が被ってしまっているところはあったが、香港の企業などを例に広告の基礎について学べて、良い経験となった。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2023 年 1 月～3 月	特になし
4 月～7 月	特になし
8 月～9 月	必要事項調べる 書類提出
10 月～12 月	面接
2024 年 1 月～3 月	特になし
4 月～7 月	留学先での就活準備
8 月～9 月	フライトチケット購入 荷物用意 留学先でのやることリスト作成
10 月～12 月	授業 大学でイベント主催

留学体験記

留学しようと決めた理由	元々海外思考で、一度は留学をしてみたかったからです。2 年次で調べた時にはすでに遅かったため、最後のチャンスとして 3 年次に留学に行くことを決意しました。留学の目的は、学問というよりも異なるバックグラウンドを持つ多国籍の学生と交流し、自分の価値観を広げたいというものでした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	特に特別な準備はしませんでした。渡航前に、香港について、日本については再度調べ直しました。日本は地理的に香港から旅行に行きやすい一方で、現地に日本人は多くないため、日本について聞かれることは非常に多かったです。そのため、文化や食べ物、地理、政治に関して理解度を高めておくと思いいます。また、香港の住民は基本的に英語が通じないので、広東語を学んでおく役に立ちます。
この留学先を選んだ理由	世界で一番国際的な大学であり、日本に地理的に近いからです。留学の目的が、異文化多国籍交流だったので、最適な環境でした。また、地理的に近いことで、留学先からの旅行予定学生が多く、日本に対する需要を利用することで、よりコミュニケーションが活性化すると考えていたからです。

大学・学生の雰囲気	ヨーロッパ、アジア、様々な国の学生がいて、和気藹々としていました。しかし、同じ国、地域同士で集まってしまう傾向はあったので、意識してアジア圏外の交友関係を作りました。大学は、非常にアクティブで、定期的にイベントを開催したり、サークル活動も盛んでした。
寮の雰囲気	寮は新設だったこともあり、施設がほとんど使えなかったもので、あまりイベント等も多くなかったです。自分から行動しないと交流の機会がかなり少ないので、同じフロアの人でも最後まで名前を知らない人もいました。基本的に近隣のビーチや、施設内で会った人に端から声をかけ続けることで交流の場を作っていました。
交友関係	最初の2週間はとりあえず興味のあるコミュニティにすべて入り、顔と名前を広めました。基本的に同じ国の人で固まったり、ヨーロッパとアジア等で分かれてしまっているのを、積極的に非アジア圏のコミュニティに顔を出し、覚えてもらいました。また、寮内で毎日ダンスの練習をしていたり、寮の welcome イベントでゲストダンサーとしてパフォーマンスしたりしたため、すぐに多くの友達を作ることができました。そして、その人脈を使って、寮でイベントを主催したので、そこでも交流の輪を広げることができました。基本的に自分からアクティブに動かないと誰とも話さない寮生活になると思います。
学習内容・勉強について	社会科学のメディアコミュニケーションを専攻していました。授業は基本的に講義と学生同士の意見交換やグループワークがメインでした。わからない内容は直接教授に聞きに行くことで基本的に解決できます。また、各授業内で友達を作ったことで、試験対策や授業の理解度向上に繋がったと感じています。
課題・試験について	私が受けた授業は、膨大な量の課題を出されることはなく、問題なく行えました。また、期末期間にテストとグループプロジェクトが被ると予想していたため、早めに試験対策やプロジェクトを進めることで計画的に行っていました。しかし、友人は大量の資料読み込みと難しい論述テストに追われていたので、授業スタイルや内容にかなり依存すると思います。
大学外の活動について	留学当初から企画していた日本文化イベントを大学の寮で主催しました。学生主催のイベントは前例がなかったこともあり、大学への企画書提出や予算交渉など0から行いました。また、運営メンバーを現地で探し、3ヶ月かけて準備したため、非常に大変でした。しかし、最終的には100人以上の学生が参加し、予算大学負担の公認イベントとして大成功しました。このイベントを通して、より日本を知ってもらい、交流でき、多くの参加者からとても楽しかったとの声をもらえ、非常に達成感を得ることができました。
ある平日のスケジュール	7時 起床、朝食 8時 通学 9～12時 授業 12～13時 昼食 13～16時 クラスメイトと観光 17時 就活面接 18時～19時 買い物、料理、夕飯 20時～ 勉強・イベント構想 26時 就寝
ある休日のスケジュール	9時 起床、朝 10～15時 友人とハイキング・食事 15～17時 ビーチで交流 18時～19時 買い物、料理、夕飯 20時～ 勉強・イベント構想 24時 就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	英語力は高校卒業レベルあれば十分だと思います。一番大切なことはコミュニケーションをとろうとする姿勢です。イベント、授業、コモンルーム、エレベーターの中でも、常に交流の機会を探し続けることで、必然と環境に慣れ、多くの友達が助けてくれるようになります。また、ただ留学生活を送るだけの人は腐るほどいます。限られた機会の中で自分が何を成し遂げたいのか、挑戦したいのかを明確にしてから行くべきだと思います。



水上レストラン「ジャンボ・キングダム」

九龍・飛鵝山



Japan Night Festival

